

2020年 九州北部(弊社撮影)



近年、ウンカ飛来地では大規模な坪枯れが発生するなど甚大な被害が発生している

坪枯れ等の直接被害を及ぼすトビイロウンカ
(短翅型)
増殖後の
世代に多い

集団で激しく吸汁する



年々ウンカ被害が深刻化



トビイロウンカ
(長翅型)
飛来する最初
の世代に多い

トビイロウンカ、セジロウンカ共に梅雨時期に飛来し水田で増殖する。特にトビイロウンカは飛来後あまり移動せず**同じ場所で第2～第3世代と増殖する。**

そのため株当たりの寄生数が急激に増え、**収穫直前になって坪枯れや反枯れなどの重大な被害**を引き起こす事がある。日本では越冬できない。

また直接被害よりも縞葉枯病などのウイルスを媒介するヒメトビウンカもあり、こちらも問題となっている。

効果的な新剤の登場 >>>

NEW

新規成分の箱処理剤が登場

- セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカへ卓効を示し長期の残効性がある
- 新しい作用性で既存の農薬に抵抗性を有する個体にも効果を発揮する
- 水稻への安全性が高く、また有用生物への影響が少ない

クミアイ化学

協友アグリ

北興化学



ゼクサロン™
パディート®
箱粒剤



フルスロツトル®
箱粒剤



防人® 箱粒剤



スクラム® 箱粒剤

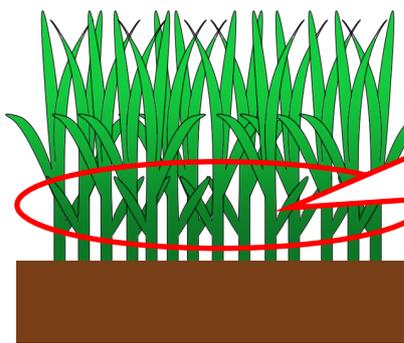


フェルテラ®
ゼクサロン™
箱粒剤

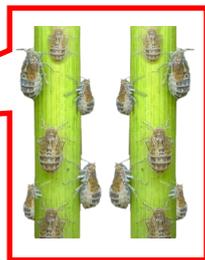
播種同時処理できる箱処理剤の例(裏面に一覧)

※パッケージデザインは変わる事があります

箱処理剤の重要性



成長後には難しい株元防除も、箱処理なら簡単



いずれのウンカも稲の株元付近に集団で寄生し、吸汁や繁殖をします。育苗箱施用剤にて予め処理しておけば、稲の生育期間中の長期に渡り防除できます。また播種時に処理することで移植時の防除作業を省力化できます。

田植え後の長期残効性でウンカを第1世代から防除



播種機にセットする簡単施薬機

箱処理剤で

ウソに負けない！
収穫の喜びを

スピコン搭載



- 1 田植え前後に仕事を増やしたくない
- 2 何度も防除するコストをかけたくない
- 3 一株一株を満遍なく防除したい
- 4 苗箱に規定量を均一に入れたい
- 5 施薬量を簡単に調整したい

美善チャンネル



- 作業動画
- 設定グラフ
- 使い方他

型式	KS-25SP (取説・調整グラフ付※)
寸法 (mm)	長449×幅410×高900~1,360
重量	7.3キロ
ホッパー容量	8リットル
可能播種機速度	苗箱 毎時200~600枚程度まで
モーター・線出	100V 6W Gモーター強制繰り出し
付属品	飛散防止板 (マグネット式 2枚)



パラット
KS-25SP



播種同時処理できる箱処理剤は裏面

パラットで使用できる箱処理剤適合表

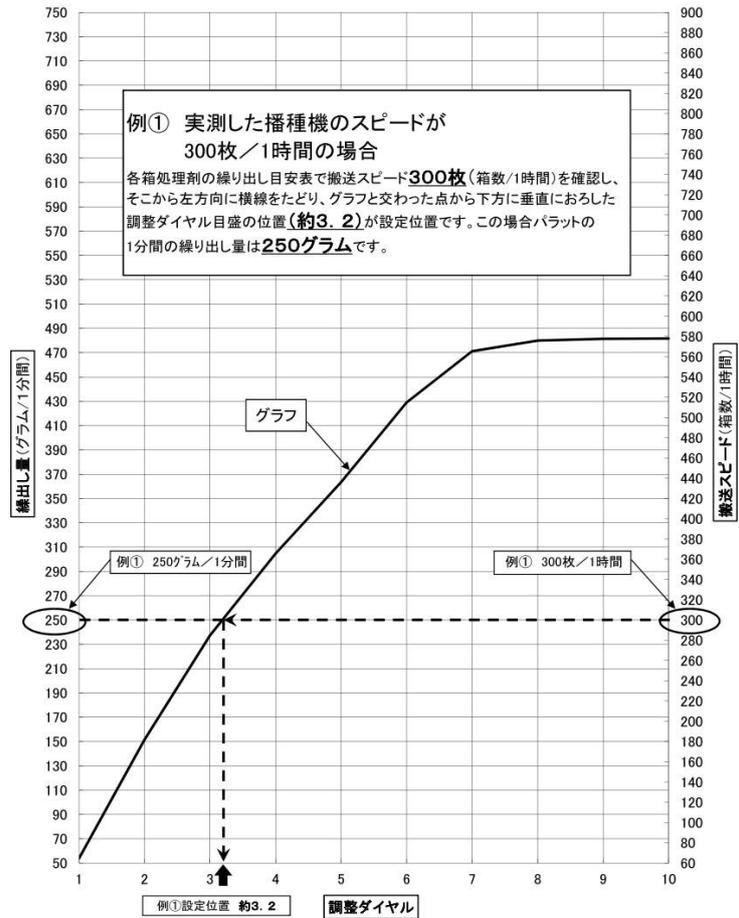
【作業上の注意】

播種時に使用できる薬剤として法令登録されている箱処理剤(※)	
レシードプラス箱粒剤	スタウトダントツ箱粒剤08(地域限定)
ブーンゼクテラ箱粒剤	スタウトパディート箱粒剤
ブーンパディート箱粒剤	スタウトパディートDX箱粒剤
ブーンレパード箱粒剤	箱王子粒剤
ヨーバルUG箱粒剤	防人箱粒剤
ヨーバルパワーEV箱粒剤	ハコナイト粒剤
ヨーバルプライムEV箱粒剤	ツインターボ箱粒剤08
ファーストオリゼリディア粒剤	ツインターボフェルテラ箱粒剤
ヨーバル箱粒剤	ツインパディート箱粒剤
ヨーバルトップ箱粒剤	フルスロットル箱粒剤
ファーストオリゼパディート粒剤	ゼクサロンパディート箱粒剤
ファーストオリゼプリンス粒剤6・10	アプライプリンス粒剤10
ファーストオリゼフェルテラ粒剤	アプライフェルテラ粒剤
ファーストオリゼプリンススピノ粒剤6	アプライパディート粒剤
ルーチンアドマイヤー箱粒剤	スクラム箱粒剤
ルーチンバリアード箱粒剤	ゼロカウント粒剤
ルーチンアドスピノ箱粒剤	プリンス粒剤/プリンススピノ粒剤6
ルーチントレス箱粒剤	ルーチン粒剤
ルーチンクアトロ箱粒剤	ファーストオリゼ箱粒剤
ルーチンデュオ箱粒剤	フェルテラ箱粒剤
ルーチンパンチ箱粒剤	フェルテラスタークル箱粒剤CU
ルーチンエキスパート箱粒剤	フェルテラゼクサロン箱粒剤
ルーチンブライト箱粒剤	アドマイヤーCR箱粒剤
エバーゴルワイド箱粒剤	パディート箱粒剤
エバーゴルフォルテ箱粒剤	ワンリード箱粒剤08(地域限定)
エバーゴルプラス箱粒剤	ワンリードSP箱粒剤

- 左記の表は2022年1月調べ。登録取得時期等により随時変更します。
- 取扱説明書巻末に箱処理剤別グラフをご用意しております。お手持ちの播種機搬送スピードに合わせ、パラットのダイヤルを調整して下さい。
- 左記の薬剤は全て育苗箱施用専用剤です。本田で使用はできません。(一部薬剤を除く)
- パラットを使用して施薬する場合は必ず覆土前に実施して下さい。(パラットの設置位置は播種機の灌水前・後どちらでも大丈夫です)
- その他、パラット及び薬剤の取扱説明書・ラベルをご確認のうえ正しくお使い下さい。ご不明点ございましたらお問い合わせ下さい。

○△□箱粒剤 繰出し目安表

※注意※ 苗箱1箱あたりの散布量は50グラムです



は種時の使用が法令登録されていない箱処理剤の例

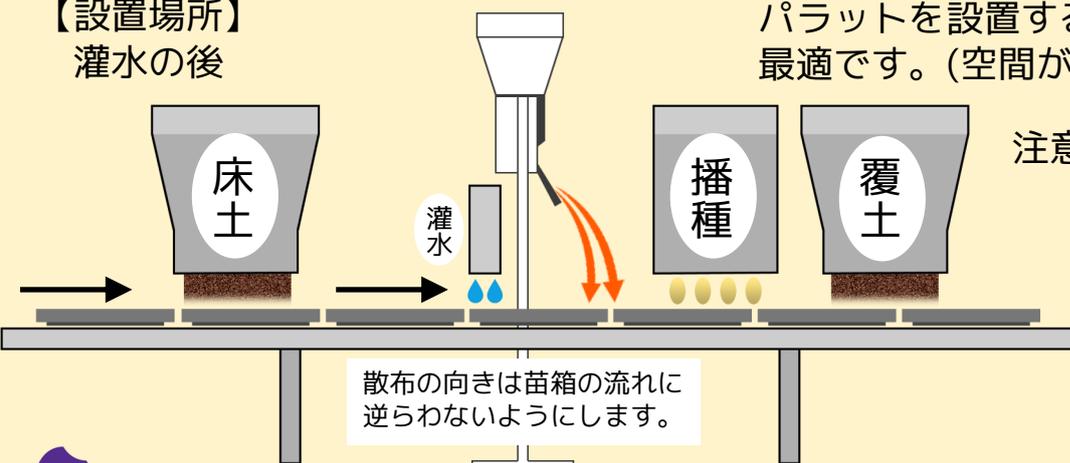
Dr. オリゼプリンス箱粒剤	ルーチンアドスピノGT箱粒剤
Dr. オリゼアドマイヤー箱粒剤	ルーチンコア箱粒剤
Dr. オリゼスタークル箱粒剤	ブイゲットプリンス箱粒剤
他、Dr.オリゼから始まる箱粒剤	ブイゲットフェルテラ箱粒剤
スタウトダントツディアナ箱粒剤	他、ブイゲットから始まる箱粒剤
ダントツ箱粒剤/ダントツ粒剤	パダン粒剤4
箱いり娘粒剤/箱大臣粒剤/箱維新粒剤	箱将軍粒剤
ビルダーフェルテラゼクサロン粒剤	デジタルコラトップアクタラ箱粒剤
他、ビルダーから始まる箱粒剤	他、デジタルから始まる箱粒剤

※パラットの適合表は「は種時薬剤として法令登録されている銘柄」を掲載しています。一覧にない銘柄の場合は薬剤の登録内容やパッケージ記載の使用方法等をご確認下さい。ご不明な場合は当社までお問い合わせ下さい。

「パラット」設置場所

【設置場所】 灌水の後

パラットを設置する位置は床土へ灌水した後が最適です。(空間がない場合は灌水前でも可)



注意：床土前や覆土後の施薬はできません。必ず床土を入れた後から覆土前までの間で施薬して下さい。

※コンパクト型の播種機では設置空間が取れない場合があります。事前にご確認をお願いします。